

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

よいことのために手を取りあおう  親睦と奉仕の輪を広げてたのしもう！！

RI 会長 フランシスコ・アレツォ

2025～2026

富津中央RC 会長 岡田良弘

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2827 第16回例会 2025. 11. 13 晴 ガバナー公式訪問

点 鐘：岡田良弘 会長

進 行：城臺彩衣 SAA

新橋悠実瑛 副SAA

ソング：奉仕の理想

お客様：時田清次 様 2790地区ガバナー

根本 泉 様 2790地区副幹事長

三好和彦 様 2790地区副幹事長

渡邊慎司 様 第5グループAG

大里光夫 様 第5グループ幹事

加曾利 勲 様 川原会員推薦者

ループ幹事大里光夫様です。お忙しい中、富津中央RCの例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

ガバナーのご訪問は、私たちクラブにとって大変意義深く、ロータリーの理念や活動の原点を改めて見つめ直す貴重な機会でございます。ガバナーからのご指導、ご助言をいただきながら、クラブの活動をより一層充実させ、地域社会への奉仕を実践してまいりたいと存じます。

富津中央RCの今年度のテーマであります「親睦と奉仕の輪を広げて楽しもう！」のもと、奉仕活動を行いながら、会員相互の親睦を深めて、富津中央RCに入会して良かったと思って頂けるように、希望の持てる活動を地道にそして誠実に進めて行きます。ガバナー訪問を機に会員一同、心をひとつにして、より良いクラブ運営と奉仕活動そして会員増強に努めて参りたいと思います。

どうぞ今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日はありがとうございます。

会長挨拶

岡田良弘 会長



こんにちは、本日はガバナー公式訪問ということで、お客様をご紹介致します。

まずは、ガバナー時田清次様、地区副幹事長根本泉様、同じく地区副幹事長三好和彦様、そして第5グループガバナー補佐渡邊慎司様、第5グ

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館

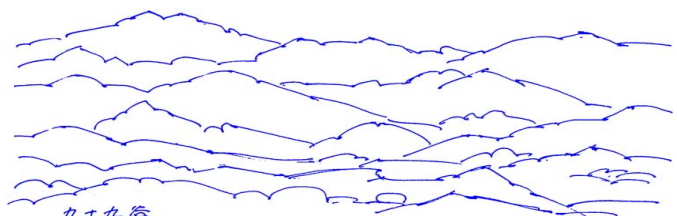
Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

293-0043

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



幹事報告

渡辺哲夫 幹事



1. 勝浦RC財団補助金事業の勝浦竹灯籠祭り里あかり「かぐやの宵」観覧案内回覧。
2. ロータリー財団月間リソースの案内回覧。
3. 第43回富津市RC旗争奪少年野球大会開催に伴う共催の依頼について回覧。
4. ガバナー月信11月号配布。

入会式



入会の挨拶

川原宏樹 新会員



一日でも早くロータリークラブに慣れまして皆さんと共にロータリー活動を楽しみたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

ガバナー挨拶

時田清次 様 2790地区ガバナー



こんにちは。25-26年度ガバナー、市原中央RC所属の時田清次と申します。よろしくお願いいたします。RI会長エレクトの交代について皆様にはご不安を与えたことと思います。6月8日にマリオRI会長エレクトが辞任届を提出されました。6月9日にアーチックRI会長が辞任届を受領し、RI細則に従い6月14日指名委員会はフランチェスコ・アレツツオさんを選出しました。

アレツツオ氏は、矯正歯科医として個人の診療所を構えています。また、矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活動しています。フランチェスコ・アレツツオ氏（イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属）が、2025-26年度国際ロータリー会長になりました。2025-26年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。

2023年10月の理事会にてコミュニケーション委員会と戦略委員会が提案し、理事会がこれを承認しました。2025-26年度から複数年のわたる行動計画を軸とした会長メッセージの枠組みも承認した。ビジョン声明を成功させるために行動計画がありその行動計画を成功に導くためのメッセージとなります。

辞任したマリオ氏は「会員増強と活性化」が重要なキーワードだと言っていました。そのためには、革新、継続、パートナーシップの3つの重点項目があると話されていました。フランチェスコ氏は「友情と信頼」が大切だと話されています。それぞれ、目的は同じですが、最初の取り組むべき重点項目が異なります。また、「UNITE FOR GOOD」のメッセージは、分断されている世界において、結束

する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。

奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、さまざまな背景を持つ人びと(人種、宗教、職業を超えて)をつなぎ、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動します。変革とは戦略から始まらない。それは「友情」と「信頼」からはじまります。強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。

ビジョンの全文を見てみましょう。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

4つの優先事項は

インパクトをもたらす。

基盤を広げる。

かかわりを促す。

適応力を高める。

行動計画を作ることとリーダーシップとはどのような関係にあるのでしょうか？クラブ会長は変化のリーダーになるべくMY ROTARYから行動計画を作成し実行することから始まります。クラブの健康チェックを行うことによりクラブの良いところと改善すべきところを抽出することができます。そのあと、数年先のクラブのビジョンを描き目標を立案します。ロータリークラブセントラルに年次目標を入力し進捗を確認しましょう。立案する。構築する。実施する。維持する。評価するを繰り返すことにより目標を達成することができクラブの活性化につながりリーダーの資質を高めることができます。

MY ROTARYのロータリーの基礎知識では、ロータリーは、「私たちは問題を解決し、機会を創出し、変化をもたらす」とあります。

1998年の私の入会時のロータリーとは、「ロータリーとは自分自身の修養の場であり、品位ある上質な思想を涵養し、己の人生、事業の展開に上質な思想を移入することがロータリーの奉仕であり、職業奉仕だと信じる」でした。ロータリーの目的からロータリーとは、を考えてみました。

ロータリーの目的は(RI定款第3条、標準RC定款第5条)、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。
3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において日々、奉仕の理念を実施すること。
4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的なネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリー章典8.040.1社会奉仕に関する1923年の声明では、ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである、としている。

この哲学は奉仕―「超我の奉仕」―の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

1935年にRIが出版したポールハリスの著書「THIS ROTARIAN AGE」の奉仕の理想の意味の記述には「物の過程の最初に奉仕を置くものである。換言すれば奉仕の理想を標榜する者は受け

るべき物質においてではなく、まず与えるべき奉仕に着眼すべきである。」とあります。23-34声明の内容を説明したものと思われます。

RIの『公式名簿』(Official Directory)巻末に記されていたチェスリー・ペリーの言葉「全世界のロータリークラブは一つの基本理念 —『奉仕の理念』を持っている。それは他人のことを思いやり、他人の助けになることである。(Rotary clubs everywhere have one basic ideal — the "Ideal of Service", which is thoughtfulness of and helpfulness to others.)」が「奉仕の理念」の意味を示した唯一の記述とされていました。奉仕の理念を育むこととは、ロータリアン一人一人が職業を通し、また日常生活において、高い倫理観を持って、「人に思いやりを持ち、人の役に立つことを実践すること」である。そして、相手のために最善のサービスをすれば、結果として精神的満足又は物理的利益が得られる。日々学び、自己研鑽していくことが「人生哲学」につながるものと考えます。ロータリーは一つの人生哲学である。

「ロータリーを楽しもう」とは何か？佐藤千寿さんの人造りロータリーからの引用で、ポールハリスがロータリーを作った動機を聞かれ「ただ淋しかっただけ」と答えたのは有名な話です。ロータリーを楽しむためには先ず一人でも二人でも友達の輪を拡げることから始める必要があります。人間は「人の間」と書かれるように、人と人との間柄において存在する者であって、厳密な意味で一人だけの人間は存在ありえないということになります。私があって貴方あり、貴方があって私がある。この節理が奉仕の出発点になります。

「ロータリーを楽しもう」Enjoy Rotaryは1989年から90年度国際ロータリー会長ヒュー・アーチャーのテーマでした。アーチャー会長は「見知らぬ他人の為に自分の時間と能力を捧げて、その人の生活を改善向上させてあげること、自分自身のほうが人間的に大きく成長するのが分かります。他人の尊厳を保つこと、それは我々自身の尊厳を高めること

になります。」とっています。

第1に友人の輪が広がること、それを出発点として、自他一如の人間成長すること。が「ロータリーを楽しもう」の意味合いとなります。

RI会長メッセージ「良い事の為に手を取り合おう」は行動計画を成功に導くメッセージでありクラブを成長させます。またロータリーの目的は「奉仕の理念を育む」ことであり自分自身を成長させます。クラブを成長させる行動計画の実践と自分自身の成長させる奉仕の理念を育むことの、共通点は成長です。

これからもロータリー活動を宜しくお願い致します。ご清聴有難うございました。

ニコニコBOX

栗原典子 親睦担当部長



お客様

根本 泉様、三好和彦様、大里光夫様 1,000円
時田清治ガバナー並びに地区副幹事長根本泉様、三好和彦様及び渡邊慎司ガバナー補佐並びに大里光夫グループ幹事様をお迎えして。川原宏樹様ご入会おめでとうございます。これからRCでの素晴らしい時間を共有したいと思います。

岡田良弘、岡元 誠、高橋裕之、神子 恒、白石幸久、志波生朗、石井智信、城臺彩衣、新橋悠実瑛 渡辺 務、平川恵敏、若鍋武良

// 榎本守男 5,000円

// 栗原典子、津田望 2,000円、

// 誕生祝いを頂いて有難うございました。

渡辺哲夫 3,000円

合計金額27,000円

出席報告

平川恵敏 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今 回	38/38	23	14	1	60.53%
前 回	38/37	20	17	3	54.05%
前々回	38/35	21	14	4	60.00%

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$

近隣クラブ例会日（通常 12:30 点鐘）

月 君津、袖ヶ浦（特別 最終例会 18:00）

水 木更津東（特 18:30）富津シティ（特 18:00）

木 上総、木更津

例会場

君津 新大和田クラブ 0439-55-2240

袖ヶ浦 レストラン菜心味袖ヶ浦店 0438-60-1753

木更津東 オークラアカデミアパークホテル 0438-52-0111

富津シティ 新日鐵住金富津クラブ 0439-80-2525

上総 割烹旅館 山徳 0439-27-2003

木更津 東京ベイプラザホテル 0438-25-8888

記念撮影



いち川旅館正面玄関にて

テーブルディスカッション

A グループ発表

城臺彩衣 会員



① 例会出席率の向上について

- ・まずは、出席率60%を目標に、メイキャップ等を活用する。
- ・ほぼ参加しない方には、紹介者がさりげなく参加を促す。
- ・久しぶりに出て来た方には積極的にコミュニケーションを図り孤立させない。
- ・現役世代の参加をどうするか？（時間帯の違う例会の開催を検討してはどうか）
- ・年に一度、100%を目指す日を作ってみたら良いのでは。

② 奉仕活動について

- ・会長を中心に年に1度だけ奉仕活動を決める。
- ・ロータリーの中だけでなく、個人が職業等を通じて長く出来る奉仕を考える。
- ・若い世代の参加が難しい現在は、労働奉仕ではなく、ロ財団や米山等へコツコツと積み立てながらに寄付をするのも奉仕だと思う。

③ 会員増強について

- ・2028年度までに50名が目標。（過去最大は43名、最少は18名、現在40名）
- ・特定の会員の方に増強を頼りすぎているので、ひとり一人が意欲的に取り組むべき課題では。

Bグループ発表

志波生朗 会員



① 例会出席率の向上について

- ・以前は70～80%の出席率をキープしていたが、最近では60%台になっている。職業との兼ね合いもあり難しい問題だ。クラブに出たいという思いにさせるように、例会の進行の在り方、出し物の工夫、全員参加の例会など工夫してみたらどうか。
- ・やむ負えない欠席もあるが、出来る限り都合をつけて出席して欲しい。

② 奉仕活動について

- ・海岸清掃などの奉仕活動を行っていた時期もあったが、仕事が忙しい現在では実施は難しい。
- ・なるべく全員が参加出来る身近な奉仕活動を考えたら。

③ 会員増強について

- ・ロータリーについて、PRが足りない。
- ・ロータリを人に紹介する際に、ロータリー活動について、解りやすいパンフレットのようなものがあると良い。



ガバナー講評

時田清次 様 2790地区ガバナー

熱心なご討議で、建設的なご意見がたくさん寄せられました。これからも、次年度創立60周年を迎えられる富津中央ロータリークラブの益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念致します。



会長挨拶

岡田良弘 会長



今日のガバナー訪問、大変有意義な1日になりました。これからも会員一同と協力してより良いクラブ発展のために尽くしてまいりたいと思います。皆さんご苦労様でした。

